

健康科学部

福祉・看護の学び生かし 阿蘇の施設でボランティア

健康科学部の学生と

看護・福祉分野の専

門職を育成する機関と

会福祉学科4年)は初

割の一つだと学びまし

大学院健康科学研究科

の大学院生14人が8月

日から13日間滞在し、

入所者の散歩の付き添

た。この体験を介護の

7日から、熊本地震で

被災した熊本県南阿蘇

域での支援方法を模索

仕事に生かしたい」と

話している

村にある福祉施設でボ

ランティア活動に取り

NPO法人「となりの

かいて」による、被災

地に対する介護職者な

組んでいる。

学生たちは、それぞ

どの派遣活動への協力

また、4

日間参加し

れが参加可能な日程

を決定。社会福祉学科

の教員が中心となって

た看

3年生の勝

で、交代で現地を訪れ、

老人ホームに宿泊。施

設利用者のレクリエー

又美幸さん

は、「看護

ション活動を中心にサ

ポートしている。

長谷川舜太さん(社

施設利用者に楽しんでもらおうと、ア

一人ひとりの思いを尊

継続する予定。



施設利用者に楽しんでもらおうと、アイデアを出し合ってイベントを準備

重することの大切さにあらためて気づいた」と振り返っていた。指導する社会福祉学